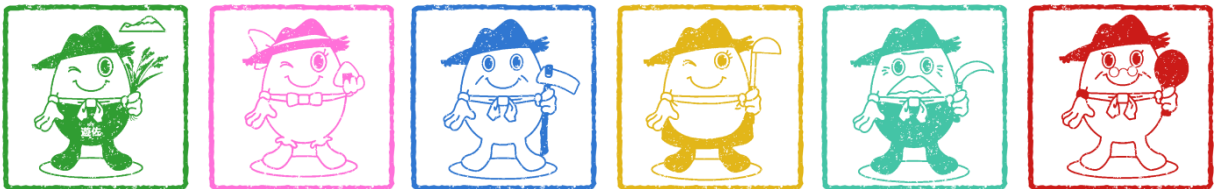
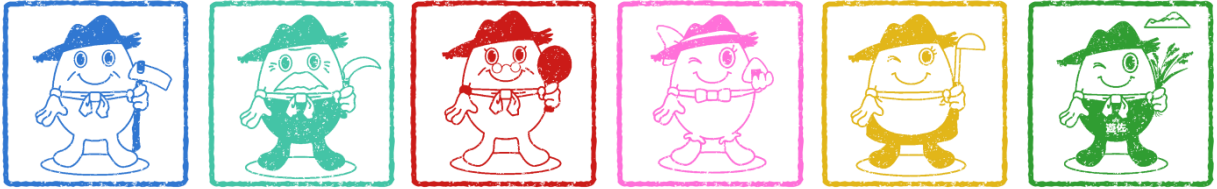


平成 26 年度

第 12 期

遊佐町 少年町長・議員 公選事業

活動報告書



平成 27 年 3 月 遊佐町

第12期少年議会 活動報告書

目次

活動経過報告	...	1
実施要項	...	2
立候補者募集チラシ	...	5
少年町長・少年議会広報	...	6
第12期メンバー一覧	...	8
有権者（町内在住・在学中高生）向けアンケート	...	9
アンケート集計	...	10
施政方針及び独自政策	...	12
第2回少年議会 - 一般質問・政策提言	...	13
第3回少年議会 - 活動報告	...	19
主な活動内容（第3回少年議会資料）	...	25
(資料)		
選挙事務改革フォーラム資料	...	26
放送大学大学院の教科書に紹介されました	...	29
広報ゆざ 平成27年3月号（第12期活動報告）	...	30
プロジェクト名簿	...	32

平成26年度 第12期遊佐町少年町長・少年議員 活動日程

No.	期 日	活 動	場 所	備 考
1	7月3日	第1回少年議会	役場 議事所	所信表明
2	7月26日	第1回全員協議会	生涯学習C	自己紹介、政策づくりの勉強 町民盆踊り大会参加について
3	8月1日	遊佐町合併60周年式典出席	生涯学習C ホール	式典への出席
3	8月14日	第45回町民盆踊り大会	大会会場	盆踊り大会への参加
4	8月20日	第2回全員協議会	生涯学習C	アンケートの集約
5	8月22日	第3回全員協議会	生涯学習C	方針・独自政策についての協議 ツデーマーチについて
6		一般質問・政策提言相談（各自）		第2回少年議会へ向けた政策提言内容の 検討・確認
7	9月2日	第2回少年議会	役場 議事所	施策方針・一般質問・政策提言の発表と 協議
8	9月6日	奥の細道鳥海ツデーマーチ	大会会場	エールの実施及びボランティア活動
9	9月18日	第4回全員協議会	生涯学習C	政策提言の検討について
10	9月25日	第5回全員協議会	生涯学習C	政策の具体的内容を協議
11	10月8日	第6回全員協議会	生涯学習C	政策の具体的内容を協議
12	10月13日	第37回鳥海山神鹿角切祭	大平山荘	角切イベント 抽選会司会・プレゼンター
13	10月30日	第8回全員協議会	生涯学習C	政策の具体的内容を協議
14	11月7日	第9回全員協議会	生涯学習C	政策の具体的内容を協議
15	11月13日	第10回全員協議会	生涯学習C	子育てフォーラムについて
16	11月9日	第11回遊佐町子育てフォーラム	生涯学習C ホール	事例発表：少年議会活動の紹介
17	11月20日	第11回全員協議会	生涯学習C	こころの交流イベントの準備
18	12月4日	第12回全員協議会	生涯学習C	こころの交流イベントの準備
19	12月11日	第13回全員協議会	生涯学習C	こころの交流イベントの準備
20	12月13日	集まれ！ゆざっ子！こころの交流	町民 体育館	世代間交流・国際交流・米～ちゃん体操 イベントの開催
21	12月19日	第14回全員協議会	生涯学習C	こころの交流反省・ミュージックフェス ティバルの準備
22	1月15日	第15回全員協議会	生涯学習C	ミュージックフェスティバルの準備
23	1月29日	第16回全員協議会	生涯学習C	ミュージックフェスティバルの準備
24	2月5日	第17回全員協議会	生涯学習C	ミュージックフェスティバルの準備
25	2月14日	ミュージックフェスティバル準備	生涯学習C	会場準備
26	2月15日	第4回遊佐ミュージックフェスティバル	生涯学習C ホール	若者を活気づける音楽イベントの開催
27		活動報告作成（各自）		第3回少年議会のための活動報告作成
28	2月26日	第3回少年議会	役場 議事所	活動総括・次期少年議会へ伝えたいこと

遊佐町少年町長・少年議員公選事業実施要項（第12期）

1. 名称 「遊佐町少年町長・少年議員公選事業」

2. タイトル 「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」

常に、歴史は若者によって創られてきました。地域の青年たちは、いつでも地域を変革していく「力」を蓄えています。青年たちが自分たちの住むまちを自分たちの協働の「力」で変革しはじめるとき、時代が拓かれ地域の民主主義が再生します。そして、地域の中で若者たちが生活者として認識され、若者たちの居場所と役割が地域の中に見えてきます。そのことを通じて、若者が生き生きと生活していく自立した地域が再生されます。

3. スローガン

自分たちの力で、自分たちが本当に求める遊佐のまちをつくろう。

遊佐町は、私たちが生まれ育った町です。鳥海山、月光川、庄内砂丘と日本海に抱かれ、豊かな自然や歴史風土あふれる町です。

21世紀をむかえ、私たちの前には地球規模での自然環境の悪化、エネルギー、食糧、少子化・高齢化、さらに、民族問題、経済格差などの新たな問題や課題が横たわっています。改めて、これまでの社会、経済そして私たちの「生き方」「あり方」「生活の仕方」そのものの大転換が迫られています。

そして、さらに私たちを取り巻く仕組みの大きな変化として「分権社会」が到来し、自分たちの生き方を自分たちが決めていくという社会システムを構築していくことが求められています。

こうした状況をふまえて、こどもたちにおいては、勉強ができスポーツが上手であればそれでよしという時代ではなくなってきているというのが現状です。その上で、人間らしく「生きる力」を育成し、開かれた個としての人格の完成に向けて、これまで以上に、こどもたちが社会とつながる活動を大切にしていくことが重要です。その過程を通して、気づき、考え、行動し、表現する。そのことによって、培われた「学力」は、一層生きて働く方向性を見出していきます。

本事業を通して、若者たちの意見や願いをもとに若者の力で遊佐町の地域づくりを行うと共に、相互教育を行おうとするものです。

4. 事業のねらい

- (1) 若者たちが、自らの代表を直接選び、政策を実現していくことで、学校外で民主主義を実際に体験・学習することにより社会の構成システムを学ぶ。
- (2) 中高校生等の未来を担う若者の視点から、町政への提言や意見を町が積極的に採り上げることを通じて、若者の町政参加を促す。
- (3) この事業に関わるすべての関係者が、若者の町政に対する意見に学び、併せて若者たちが、社会システムや民主主義を学ぶ、相互教育の場とする。

5. 少年町長・少年議会の対象者

対象者は、遊佐町在住の中高校生及び遊佐町に通学する高校生とする。
対象者はだれでも、少年町長及び少年議員の選挙権と被選挙権をもつ。
また、少年議会は、自らの政策立案権と少年町長の議案審議権を有する。

6. 構成員

(1) 少年町長（1名）

対象者のうち少年町長に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(2) 少年議員（10名）

対象者のうち少年議員に立候補し、全有権者の投票により信任された者

(3) 少年副町長・少年監査

少年町長・少年議員に立候補し、当選できなかった者のうちから、少年副町長（若干名）・少年監査（若干名）を委嘱できるものとする。委嘱された少年副町長・少年監査は、少年議会の構成員となる。

7. 少年町長

少年町長は、遊佐町少年町長・少年議員公選事業にかかる全ての有権者の代表であり少年議会で承認された政策の実現のため遊佐町長に対して、予算要求を行う権限をもつ。
また、遊佐町長より交付された政策予算の予算執行権をもつ。

8. 少年議会

少年議会は、少年町長が招集し議案を提案し承認を得る。少年議会は、最初の議会に議長及び議長代理を選任するとともに、少年町長の議案審議を行う。
併せて、自ら少年政策立案を少年議会の場で行うことができる。

9. 少年副町長

少年町長を補佐し、少年町長不在の場合、臨時的に政策実現における執行権限をもつ。

10. 少年監査

少年監査は、少年議会の附属機関として、予算執行に関する監査権をもち、少年町長に勧告することができる。

11. 事業期間

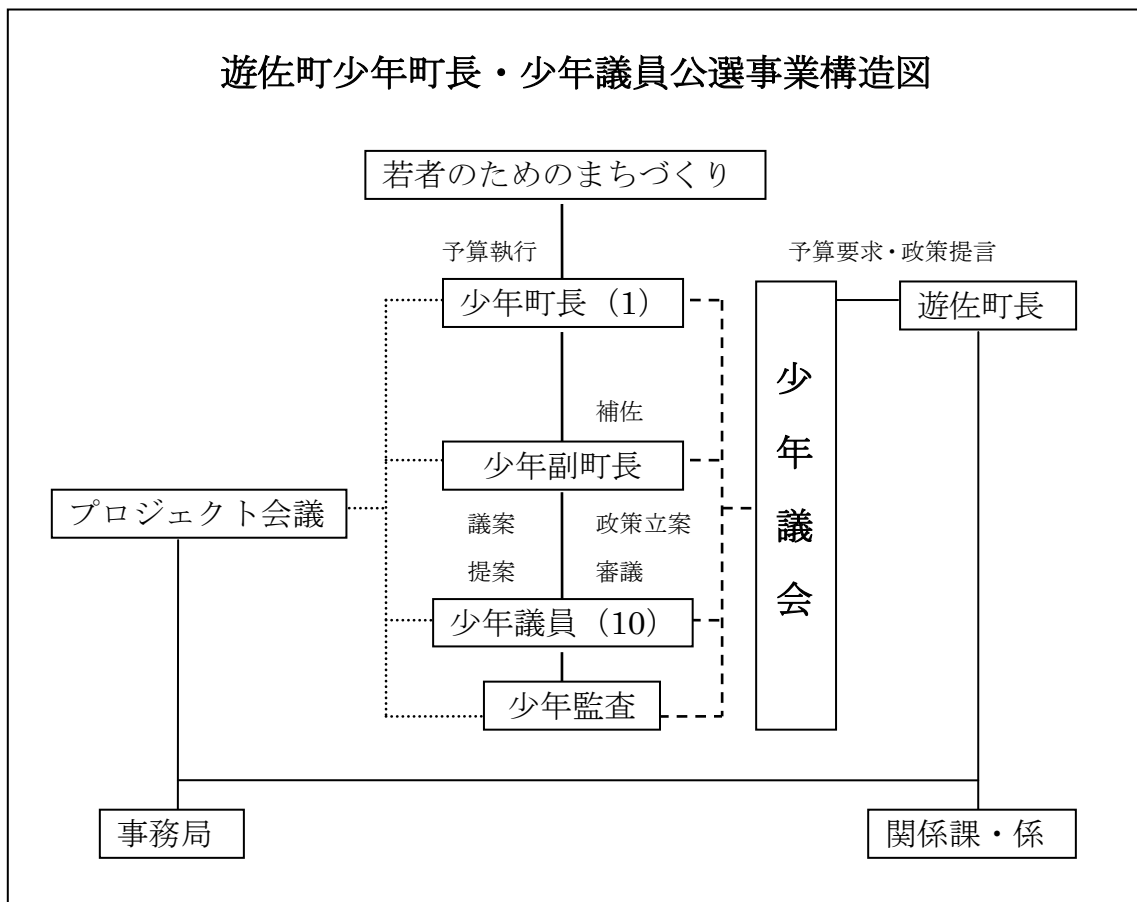
平成26年4月～12月（第12期）ただし、少年町長・少年議会から要望があるときは延長することができる。

12. 事業スケジュール（概案）

別紙参照

13. 政策予算

全期間を通じて 450,000 円とする。但し、町への提言に伴う予算は、所轄課で予算化する。



Youth President's Election 2014 in YUZA

明日の遊佐町に
わたしたちは提案します

第12期

少年町長・少年議員 立候補者募集

1 「選ぼう」

遊佐町に住む中学生・高校生と遊佐町に通学する高校生から「少年町長」「少年議員」の立候補を受け付け、選挙によって「少年町長」「少年議員」を選び、「少年議会」を開催します。

立候補者受付期間 平成26年5月19日(月)～5月26日(月)

公選で選ぶ人 (1)少年町長 1人 (2)少年議員 10人

少年町長・少年議員に当選できなかった人は少年副町長・少年監査に就任いただきます。

立候補の仕方

立候補用紙で直接またはFAXによる届け出、もしくは学校の先生への提出にて受付します。

受付
遊佐町教育委員会
教育課

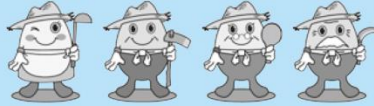
2 「討議しよう」

遊佐町の若者の代表として、議会・全員協議会を開催し遊佐町に様々な意見を届けてもらうとともに、自分たちで「中学生、高校生の政策」を議論し決めていきます。自分たちの決めた政策を、政策予算45万円を用いて実現していきます。

3 「実現しよう」

主な活動内容

- ・有権者の意見集約と町への政策提言
- ・政策予算による自分たちの政策実現のための活動
(2013年：特産品づくり、ゆげミュージックフェスティバルの開催、陸前高田市の小学生との交流会など)
- ・町内各種イベントへの参加
(2013年：鳥海ツーデーマーチ、町民盆踊り大会、神鹿角切祭、フードフェスタ2013など)



第12期少年議会において「遊佐町を もっとPRしてほしい」という有権者の意見を表現するために、少年議会がイメージキャラクターを募集し決定しました。

米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター



**自分たちが本当に求める遊佐のまちを、
自分たちの力でつくろう!!**

少年町長・少年議員立候補届

少年町長・少年議員 に立候補します。(○をつける)

氏名	
住所	
TEL ()	
学校名	学年

以上のとおり立候補します

立候補の抱負

問い合わせ・連絡先

遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局
遊佐町教育委員会教育課社会教育係
〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内
TEL.0234-72-2236

届け出は ▶ FAX.0234-71-1222

遊佐町少年町長・少年議会広報（表）

Youth President's Election 2014 in YUZA

遊佐町 少年町長・少年議会広報

明日の遊佐町に
わたしたちは
提案します



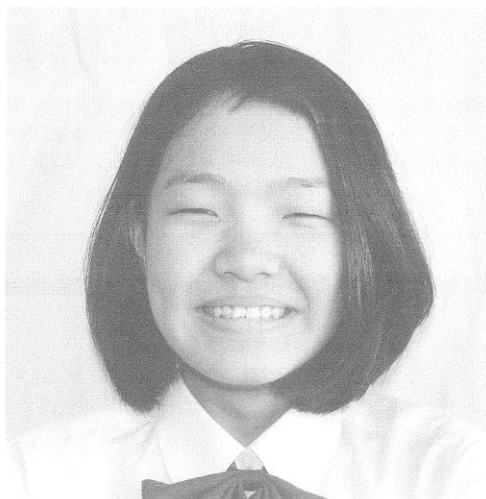
Be-chan
米〜ちゃん
遊佐町イメージキャラクター

第12期少年町長・少年議員決定

遊佐町では平成26年5月19日（月）から5月26日（月）まで、第12期少年町長・少年議員立候補者受付を行い、少年町長に1名、少年議員に6名の立候補がありました。その結果、少年町長・少年議員ともに定数以内だったため、立候補者全員の当選が確定しました。今後、少年議会は遊佐町の若者の代表として活躍していきますので、みなさん応援よろしくお祈りします。

また、これからの少年議会の活動のもととなる有権者のみなさんから、遊佐町に対するご意見を受け付けます。学校にて配布される用紙に記入の上、下記事務局までお寄せください。メール、ファクシミリでも受け付けます。

みなさんのご意見が、明日の遊佐町をつくります。多くのご意見をお待ちしています。



少年町長

県立遊佐高等学校1年（地区●酒田）

み うら さ き

三浦紗希

ゆざミュージックフェスティバルやツーデーマーチを通して遊佐町の人にも知らないような遊佐のいいところを多くの人にPRしたいです。そして、遊佐町が今よりも、もっと活発になるように努めていきたいです。

◎少年町長・少年議員の活動内容は、遊佐町HPからご覧になれます!!

<http://www.town.yuza.yamagata.jp/>

○遊佐町少年町長・少年議員公選事業事務局○遊佐町教育委員会教育課社会教育係
〒999-8301 遊佐町遊佐字鶴田52-2 遊佐町生涯学習センター内 TEL.0234-72-2236 FAX.0234-71-1222
(e-mail) youth2014@town.yuza.yamagata.jp

遊佐町少年議員

町立遊佐中学校3年

(地区●高瀬)

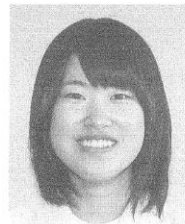


この
今野 麻未

ボランティアなどを通して、人を笑顔にしていけるように、頑張っていきます。

町立遊佐中学校3年

(地区●高瀬)



しら さき えり
白崎 絵理

よりよい遊佐町にしていけるように精一杯活動します。遊佐町に笑顔が増えるよう頑張りたいです。

県立遊佐高等学校1年

(地区●遊佐)



あい そ あや か
相蘇 彩花

遊佐町出身ですが、遊佐町のことについてもっともっと知っていきたくと思っています。企画なども楽しいものになりたいと思っていますので、少年議員に立候補します。

県立遊佐高等学校1年

(地区●酒田)

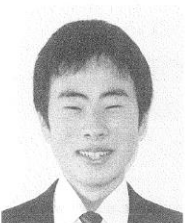


いけ だ たい き
池田 泰基

僕は遊佐町出身ではありませんが、遊佐高校に通っているので、遊佐町には毎日来ています。その毎日来ている遊佐の町をよりよい所になりたいと思っています。

県立遊佐高等学校2年

(地区●遊佐)



すが わら かず ま
菅原 一真

昨年度、途中で終わった政策を受け継いで明るく元気あふれる遊佐町にしたいです。

県立酒田光陵高等学校3年

(地区●西遊佐)



さ とう つばさ
佐藤 翼

遊佐町の豊かな環境と資源をよりよくいかし、老若男女住みやすい町作りを目指したい。地区や企業の声をしっかり聞き、多くの意見を反映していきたい。何事にも真摯に取り組んでいきたい。

第 12 期少年議会メンバー

少年町長

1.	三浦紗希 (みうら さき)	女	遊佐高等学校 1 年	酒田市
----	---------------	---	------------	-----

少年議員

1.	今野麻末 (このの まみ)	女	遊佐中学校 3 年	高瀬
2.	白崎絵理 (しらさき えり)	女	遊佐中学校 3 年	高瀬
3.	相蘇彩花 (あいそ あやか)	女	遊佐高等学校 1 年	遊佐
4.	池田泰基 (いけだ たいき)	男	遊佐高等学校 1 年	酒田市
5.	菅原一真 (すがわら かずま)	男	遊佐高等学校 2 年	遊佐
6.	佐藤 翼 (さとう つばさ)	男	酒田光陵高等学校 3 年	西遊佐



第 1 回少年議会 (平成 26 年 7 月 3 日)

Youth President's Election 2014 in YUZA

遊佐町少年議会 アンケート

遊佐町のこれからのまちづくりのために、中学生・高校生のみなさんの考えをお寄せ下さい！
少年町長・少年議員にあなたの意見をとどけましょう！

1-1. あなたは、遊佐町が好きですか？嫌いですか？

好き ・ 嫌い

1-2. それは、どんなところですか？

例) 自然が豊か、水・食べ物おいしい など



2-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

例) ○○な町、△△がある町 など



少年議会に何をしてほしいですか？

3-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

例) 音楽イベント など

3-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

例) ディズニーランド、プール など

3-3. いつもの生活・通学で困っていることはありますか？



4-1. 少年町長・少年議会と一緒に参加してみたいこと、
できそうなことはありますか？

例) 清掃ボランティア、被災地支援活動 など



☺ ご協力ありがとうございました。

☺ 今後の少年議会の活動に、ご協力と応援をお願いいたします。

第12期少年議会アンケート 集計結果

1-1. あなたは、遊佐町は好きですか？嫌いですか？

1-1	票数	割合
好き	467	90.2%
嫌い	43	8.3%
どちらでもない	8	1.5%
計	518	100.0%

1-2. それは、どんなところですか？

【 好きの理由 】

1-2 好き	内容
自然	自然がいっぱい・きれい、鳥海山、景色がいい、空気がきれい、水がいい、海・山・川がある
食べ物	米がおいしい、水・湧き水がおいしい
人柄が良い	あいさつが返ってくる、人がやさしい
雰囲気	和やか、落ち着く、平和、のんびりしている
田舎	田んぼ、田舎だから、何もなくていいところ
町のつくり	住みやすい、安全、町がきれい
全部	全部！
ふるさと	生まれた町だから、ふるさとだから
イベント	イベント・行事が多い
施設	足湯、紅四季
特徴	ハンガリーと交流がある、パプリカの生産者数日本一

【 嫌いの理由 】

1-2 嫌い	内容
施設の不十分	店（ファーストフード、ショッピングセンター等）がない、娯楽施設（カラオケ、ゲームセンター等）がない
何もない	何もない！
環境	虫が多い、水がおいしくない、日陰が少ない
田舎	田舎だから
人柄が悪い	活気がない、あいさつがない
町議会	町民の意見を聞いていない、政策が雑

2-1. 遊佐町にどんな町になってほしいですか？

	内容
明るい町	笑顔があふれる町、楽しい町、仲が良い町
元気な町	行事・イベントに参加しやすい町、お年寄りが元気な町
きれいな町	ゴミがないきれいな町、きれいな景色を守る町
活気のある町	活気があって住みよい町、スポーツの盛んな町、年齢関係なく活発な町
豊かな町	自然が豊かな町、豊かに暮らせる町
住みやすい町	街灯のある町、ゴミのない町
若者が多い町	若い人が住みやすい町
都会化した町	店のある町、便利な町
今のままの町	伝統を守る町、昔の風景が残っている町

3. 少年議会に何をしてほしいですか？

3-1. 遊佐町で行ってほしいイベントはありますか？

ジャンル	内容
音楽イベント	ライブ（野外・有名人）、コンサート
祭り	夏祭り、大きな祭り
食べ物系	スイーツ、おいしいもの祭り、B級グルメ
スポーツ系	運動会、マラソン大会、野球の試合
花火大会	もっと盛大に
ネット・ゲーム系	ゲーム・アニメイベント、ニコニコ町会議
米〜ちゃん	写真撮影会、各地のゆるキャラコンテスト

3-2. 遊佐町につくってほしいものはありますか？

ジャンル	内容
店	ショッピングセンター、飲食店、服屋など
テーマパーク	ディズニーランド、USJ、遊園地など
プール	
娯楽施設	カラオケ、ゲームセンター、ボウリング場
ファーストフード カフェ	マクドナルド、スターバックスなど
スポーツ施設	サッカー場、テニスコート、バスケットリング
コンビニ	

3-3. いつもの生活・通学で困っていることはありますか？

ジャンル	内容
電車関係	本数が少ない、19時台がない、朝の時間が早い
街灯が少ない	街灯がない・少ない、夜道が暗い
通学路の状態	道がでこぼこ、歩道が狭い、坂道が狭い、スピードを出す車が危ない、日陰が少ない
交通手段	町内に交通手段がない、駅・家が遠い
バス関係	バスが少ない、バスが小さく狭い
店がない	コンビニがない、買いたいものがない

4-1. 少年町長・少年議員といっしょに参加してみたいこと、できそうなことはありますか？

ジャンル	内容
清掃ボランティア	ゴミ拾い、海岸清掃
ボランティア	ボランティア全般、24時間テレビ
被災地支援活動	被災地ボランティア、募金活動、イベント開催
高齢者とのふれあい	一人暮らしのお年寄り訪問、老人ホームの訪問
町内イベント参加	ツーデーマーチ、まちづくりの祭り
何でも	

第12期少年議会 一般質問（町への要望）・政策提言

役職	氏名	内容区分	内容主旨
少年副議長	菅原 一真	一般質問 (町への要望)	◇ 河川敷の整備のお願い ◇ 「おくりびと」のイスの整備のお願い ◇ 街灯設置のお願い
少年町長	三浦 紗希	少年議会 独自の 政策提言	◇ ゆざミュージックフェスティバルの開催
少年議員	今野 麻未		◇ 心の交流（世代間）イベントの開催
少年議員	白崎 絵理		◇ 米〜ちゃん家族スタンプラリーの開催
少年議員	池田 泰基		◇ ゆざミュージックフェスティバルの開催 ◇ 若者の参加しやすいイベントの開催
少年議員	佐藤 翼		◇ 外国人との交流会の開催
少年議長	相蘇 彩花		◇ 米〜ちゃん体操イベントの開催

少年議会 政策 提言



【 施政方針・一般質問・政策提言 】

平成 26 年 9 月 2 日 (火) 第 2 回少年議会

施政方針

少年町長 三浦紗希

えがお きずな

「SMILE & BOND (笑顔と絆) みんなが主役の明るく楽しい町」

第 2 回少年議会を開催するにあたり、施政方針を申し上げます。

第 1 回少年議会以降、全員協議会を開催して、「少年議会アンケート」として、若者の意見調査を行った集約結果をもとに、今期の活動目標・活動内容を協議してきました。その結果を踏まえ、第 12 期少年議会では、「SMILE & BOND (笑顔と絆) みんなが主役の明るく楽しい町」をコンセプトとして、活動していきます。

アンケートでは、遊佐町を好きな理由として、「自然が豊か」、「水や空気、食べ物がおいしい」、「みんな優しく人柄が良い」、「雰囲気が良く落ち着く」という意見が多く見られました。これらは、遊佐町の長所・アピールポイントだと考えます。また、遊佐町にどんな町になってほしいか？という質問では、「笑顔あふれる明るい町」や、「元気な町」、「年齢関係なく活気のある町」という意見が沢山ありました。

そこで、私たちは、「笑顔」があふれ、人と人がつながる、「絆」を大切にしたい、子どもから大人、お年寄りまで「みんなが主役の、明るく楽しい町」を目指し、少しでも若者の目指す遊佐町に近づくため、少年議会らしい「まちづくり」を行っていきます。

また、今年度、少年議会は第 12 期を迎えました。歴代の少年町長・少年議員の活動を振り返り、意思を引き継ぎながら、新しい活動も検討していきます。少年議会の活動は、町民の皆さんのご理解やご協力がなくては進めることはできません。皆さんと力を合わせて取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

以上を、今年度少年議会の施策方針とします。

少年副議長 菅原一真

少年議員の菅原一真です。僕は、遊佐町が安心・安全な町になるため、三つの要望があります。

一つは、月光川の河川敷の道が雑草によってせまく通りにくくなっています。中学校側の道は除草されていますが、反対側の道は除草されていません。もし、除草してもらえたら、道が通りやすくなり、いつも通学や散歩で使ってくれている人にも喜ばれると思います。

二つめは、映画「おくりびと」で使われた椅子が古くなっています。クッションがやぶれ、見た目も悪くなっています。観光のために置いているので、古くなった椅子を交換することで、来てくれた観光客の人が喜んでくれると思います。

三つめは、昨年度の少年議会で小学校から高校までの通学路のアンケートをしたところ、街灯を設置してほしいという要望が多数届きました。特に、国道345号線につながっている7号線のコンビニ近くの坂道の街灯がほとんどないので、設置してほしいとの要望がありました。町民の人からも、児童が345号線の坂道を使っており、暗い坂道を通るのは危険で、本人も怖がっているので街灯を設置してほしいという要望がありました。街灯を設置すれば、児童の不安と交通事故の危険性を防ぐことができると思います。

この3つの要望が実現できたら、遊佐町が安心・安全な町になるのではないかと思います。

少年町長 三浦紗希

私は、少年町長の三浦紗希です。私が実現したい政策は、昨年行ったミュージックフェスティバルのような音楽イベントを野外で開催することです。

なぜ、私がこのような政策を提案するかというと、先日、中高生を対象に行った「少年議会アンケート」の結果の中に、「音楽イベントをしてほしい」や、「みんなで盛り上げられるイベントがあればいい」といった意見が多数ありました。それから、私自身がライブ好きで、よくライブハウスに行きます。ライブに行くと、学校や家での悩み事が全部忘れられ、帰るときには自分が何のことで悩んでいたか忘れてしまうくらいです。その楽しさをライブハウスに行く機会の少ない遊佐の中高生や地域の方々に知ってもらいたいからです。

この政策の具体的な内容として、酒田などに住んでいる高校生や遊佐の中高生、地域の方々をターゲットに、昨年を上回る四百人を集めたいと思っています。イベントを行う場所

は、町民体育館前の広場にステージを作り、そこで一組二十分～三十分で発表するような形にしたいです。イベントに出演してもらうバンドの集め方は、ポスターを作成し、駅や高校に貼ったり、ツイッターなどの SNS を使って、庄内で活躍する若い人たちに、呼びかけをしようと思います。

この政策のメリットは、たくさんの自然の中で音楽イベントができるのは、とても素敵なことだと思います。また、たくさんの人に来てもらって、遊佐町が少しでも活発で元気になってもらえればと思います。そして、私のように、遊佐以外から来ている人に遊佐町が好きになってもらえたらうれしいです。

政策提言

少年議員 今野麻末

私は、少年議員の今野麻末です。私が、今年の少年議会として実現したいことは、男女・世代間関係なく心の交流をする事です。

なぜ、このような事を提案するかというと、前に一度、中高生に協力してもらった少年議会アンケートの中で「遊佐町にどんな町になってほしいか」という質問がありました。その質問を集約した結果、明るい町、きれいな町、豊かな町はもちろんの事、その中には活気のある町になってもらいたいと望む人が約八十人居ました。活気のある町の中でも、活気があって住みやすい町、スポーツが盛んな町、年齢関係なく活発な町という意見がとても多かったです。私は、今の遊佐町は活気があり、良い町だと思います。ですが、もっと活気のある町になってもらいたいと思います。

そこで、回答にもあった、スポーツが盛んな町、年齢関係なく活発な町を取り入れた、心の交流を考えてみました。この心の交流の目的は、六つの地域の人たちが、男女世代間関係なく、仲良く関わり合い、町がにぎわい、明るい町になることです。そして、普段体を動かさない人でも、体を動かせる遊びも計画しています。具体的な内容として、日時は十一月頃の休日で、場所は参加人数で決めたいと思います。対象は子どもからお年寄りまでとし、内容は、少人数のグループに別れ、話をしたり、軽いゲームをします。

期待される効果は、「世代を超えて仲良くなり、遊佐町の活性化につなげる」です。

参加者の目標は、誰とでも話をしたり、関わり合う事。主催する私達の目標は、三十人から五十人の人を集め、最後には、この企画をして良かったと思える事です。この企画を通し、今まで以上に活気のある遊佐町が実現したら良いと思います。

少年議員 白崎絵理

私は、少年議員の白崎絵理です。私が実現したい政策は「米～ちゃん家族のスタンプラリー」です。

「少年議会アンケート」を少年議会で集約した結果、「米～ちゃん家族の知名度向上イベント」という意見がありました。そこで、私は、友達や家族に「米～ちゃん家族の名前を全部言えるか？」という質問をしてみました。その結果、米～ちゃん、ライちゃんの名前はほとんどの人が知っていたにも関わらず、その他の家族の名前を言えた人はいませんでした。この様子だと、遊佐町民の皆さんもほとんどの方が米～ちゃん・ライちゃん以外の家族の名前は知らないと予想できます。他の市町村に米～ちゃん家族を知ってもらうには、まずは遊佐の皆さんにもっと興味を持ってもらい、名前を知ってもらうことが大切だと思います。そして、アンケートの「行ってもらいたいイベント」には「スタンプラリー」という意見がありました。スタンプラリーなら、誰でも気軽に参加してもらうことができます。そこで私は、この二つの意見を合わせた「米～ちゃん家族のスタンプラリー」を提案します。

この政策について簡単に説明します。時期は十一月頃、場所は遊佐町内の施設（遊佐駅やふらっと、エルパなど）六ヶ所と考えています。対象は主に保育園・幼稚園から小学校低学年を考えていますが、特に年齢制限は必要ないと思います。方法は、米～ちゃん家族ののスタンプを遊佐町内に設置し、家族全員分のスタンプを期間内に集めてもらいます。全部そろった人には米～ちゃんグッズ（文房具）をプレゼントする、というように商品もあったら楽しいと思います。

この政策を行う上で期待される効果は、米～ちゃん家族に興味をもってもらい、遊佐町の中で知名度を上げることと、それをきっかけに今後遊佐町を他の市町村や県にPRしやすくすることです。町民みんなが米～ちゃん家族を知り、もっと遊佐に根差すことで、「地元のキャラクター」と言えるのではないのでしょうか。

少年議員 池田泰基

少年議員の池田泰基です。僕がやりたいと思っている事は二つあります。

一つ目は、ユザミュージックフェスティバルのような音楽イベントの開催です。これは、少年議会アンケートを少年議会で集約した結果、「どんなイベントを開いてほしいか」の所

で、多くの方が「音楽イベント」と答えていたからです。

具体的には、遊佐町で音楽活動をしている人を中心に呼んで、可能ならば、中高生くらいの年齢の人に人気のあるグループなども呼べたらいいと思っています。ターゲットは、基本的には中学生や高校生ですが、小学生くらいの人でも来てくれればいいと思っています。小学生は、一人で来る事はあまりなく、保護者がついて来る事が多いと思うので、その分多くの方が来てくれると思うからです。

二つ目は、初めに言ったユザミュージックフェスティバルや、その他のイベント・行事をもっと参加しやすくし、よりたくさんの人に参加してもらおう事です。これも、少年議会アンケートの集約結果なのですが、「どんな町にしてほしいか」の所に「イベントや行事に参加しやすい町」という回答があったからです。

イベントや行事にたくさんの方が来るようになれば、多くの方が元気になり、そして、この町も今よりも元気で活発な町になると思います。イベントや行事に参加しやすくなる方法などは、今はまだ、ただ漠然としたものだけですが、少年議員の皆さんと考えて実行していきたいと思います。

政策提言

少年議員 佐藤 翼

私は、少年議員の佐藤翼です。

私は遊佐町が外国人の方が暮らしやすい環境を大切にしていってほしいと思います。少年議会アンケートの集計結果に、もっと活気のある町になってほしい、一人一人の関わりが多い町になってほしいなどの町への要望が多くありました。そこで、私はグローバル化が進んでいる今、外国人の方との交流を増やしていきたいと考えました。

私の母は韓国出身です。遊佐町で生活していて心配事がないか質問すると、日本語が難しく人と会話しにくいと教えてくれました。町の中心地や地区を歩いていて遊佐町に外国人の方が多く感じます。私の母以外にも、日本語で悩んでいる人がいると思います。そこで、日本語教室を開催したり、日本のことわざや四字熟語をクイズにして勉強にもなる簡単なゲームイベントができればと考えています。コミュニケーションは、言葉だけでなく、表情やジェスチャーでも分かりあえるので、より多くの方が参加できるようセンスのあるポスターやホームページ作成でイベントを広めたいです。

国際交流をすることで、学生は進路選択の幅が広がったり、留学や英語の授業などに興味を持つきっかけにもなると思います。また、外国人の方とイベントや会話をすれば、言語だけでなく日本とは違う文化に触れることができ、皆さんが楽しめると思います。ですから、

外国人の方が暮らしやすい環境を大切にしていきたいです。

政 策 提 言

少年議長 相蘇彩花

私は、少年議員の相蘇彩花です。私が実現したい政策は「米～ちゃん体操」です。

なぜ、このような政策を提案するかというと、私はもっと遊佐町を PR したいと思ったからです。そこで、もっとたくさんの人に遊佐町を知ってもらうために、米～ちゃん体操という提案をしました。また、少年議会で中高生に対して取ったアンケートでも、にぎやかな町や元気で明るい町になってほしいと意見が多かったからです。

具体的な内容は、幼稚園児から小学生を対象として、今流行りの「妖怪ウォッチ」のダンスを踊ります。人の集め方は、ポスターを作成して宣伝することと、幼稚園の先生や小学校の先生に交渉して人を集めます。練習も必要なので、何回か集まり練習もします。本番は、町民体育館を使って行います。子どもたちのご家族や、地域の方々に来てもらい発表をします。また、動画を撮って思い出として DVD をプレゼントしようと考えています。

この政策の効果は、子どもたちが精一杯踊る姿を見て、見ている人も元気 100 倍！になり、にぎやかで明るい町になると思います。そして、遊佐町を PR するために、米～ちゃん体操を Youtube にのせて再生回数 1 万回を目指します。子どもたちが楽しくなって見ている人も楽しくなれるようなものを作れたらいいなと思っています。遊佐町のいい PR になるように私達もがんばります。応援よろしくをお願いします。

少年議会

政策 提言



【第12期活動報告・最終提言・次期少年議会に望むこと】

平成27年2月26日（木） 第3回少年議会

全体総括

少年町長 三浦紗希

私たち第12期少年議会の活動は、7月3日の第1回少年議会から始まりました。今期の少年議会活動を行うにあたり、若者の意見をアンケートという形で調査しました。結果、遊佐町を好きな若者は、90%以上もいることが分かりました。遊佐町の好きなところでは、「自然が豊か」「食べ物がおいしい」「人が優しく、あいさつが返ってくる」といった意見が多くありました。

第12期少年議会では、コンセプトを、「SMILE & BOND（笑顔と絆） みんなが主役の明るく楽しい町」とし、「笑顔」があふれ、人と人がつながる、「絆」を大切にしたい、子どもから大人、お年寄りまで「みんなが主役」となるよう活動してきました。

この目標の実現に向け、様々な政策を実現しています。

12月には、町民体育館を会場に、世代間交流・国際交流を目的として「集まれ！ゆざっ子！こころの交流」イベントを開催しました。遊佐をイメージした巨大すごろくと、少年議会で歌詞と振付を考えた米～ちゃん体操を行いました。また、先日2月15日には、「第4回遊佐ミュージックフェスティバル」として、少年議会が受け継いできた音楽イベントを開催しました。

地域の方々からご理解、ご協力に支えられ多くの政策を実行に移しましたが、「米～ちゃんファミリーのスタンプラリー」など完成することができなかった政策や、課題の残った政策もあります。その部分については、可能な限り、次期少年議会から引き継いでほしいと思っています。

議会報告

少年町長 三浦紗希

私は少年町長の三浦紗希です。私がこの一年少年町長として学んだことは二つあります。一つは、「意見をはっきり言うこと」です。私は、つい遠慮して自分の意見を言わないで

しまうことができました。しかし、議会のみんなと話し合いをする時など、自分から意見を言うように心がけました。気がつけば、学校などの日常生活でも自分の意見が言えるようになりました。

二つ目は、「人の目を見ること」です。人の目を見て話しをすることや聞くことが苦手な私でしたが、この一年で人と話す時、話を聞く時に目を見るようになりました。人の目を見て話をするすると相手の表情が見えるので、とてもいいことだと感じました。そして、何よりも多くのイベントを通して、たくさんの方々の笑顔や感謝の言葉を聞いて、次のイベントもがんばろうと思いました。「またこのイベントやってほしい！」という声が聞けて、このイベントをやって良かったと達成感がありました。

先日行われた「遊佐ミュージックフェスティバル」では、お客さんも出演者の皆さんも楽しんでいたと思います。開場前は、生涯学習センターのろう下がいっぱいになるほど人がいた時は驚きとともに、うれしさがこみ上げてきました。出演者の方からは、「ぜひ、来年もして欲しい」という声が聞けて良かったです。

来年の少年議会の皆さんにして欲しいことは、二つあります。一つは、遊佐ミュージックフェスティバルです。このイベントは来年だけでなく、これから先ずっと続けていってほしいです。そして、多くの人に音楽の素晴らしさ、音楽が持つ無限の可能性を知ってほしいです。二つ目は、心の交流イベントです。来年は、もっとたくさんのお客さんが入るように宣伝をして欲しいです。

議会の活動を通して学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。

議 会 報 告

少年議員 今野麻末

少年議員の今野麻末です。

私が今年度の少年議会で、一番思い出に残っている事は、昨年十二月に行った「集まれ！ゆざっ子！こころの交流」です。この企画での、課題点は大まかに二つありました。

一つは、参加者がいなかったことです。これは日時を決める前に保育園や幼稚園に予定を聞いておいて、日時を決めたら良かったと思います。もう一つは、天候が悪かったことです。この企画は、準備期間を入れ、本番当日まで約三ヵ月かかりました。この時間をもう少し短くし、冬期に入る前にできたら、お年寄りや小学生や中高生も来やすかったと思います。

このように、課題点はありました。ですが、これ以上にボランティアの方々や少年議員の皆さんと楽しい時間を過ごせたのは、本当にうれしかったです。楽しいと思えただけで、この企画は成功だったのかもしれませんが、この一年間、思い返せば色々な事がありました。

色々な事があった分、思い出もたくさん増えました。ありがとうございました。来年度の少年議会では、今回の事をふまえて、良かった点はそのまま継続してもらいたいです。その反面、たくさんの課題点も出ました。その課題点を改善し、今まで以上に良い議会にしてもらいたいです。

また、十三期の少年議会には、老人ホームでのボランティア活動を取り組んでももらいたいです。今年度はそういった取り組みはしなかったもので、ぜひ、次の少年議会の皆さんには行ってほしいです。私は、今年度様々な行事に参加し、とても貴重な体験ができました。今回、体験したことは忘れません。本当に、ありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 白崎絵理

少年議員の白崎絵理です。私が今年度行った政策の中で、特に印象に残っているのは、「遊佐ミュージックフェスティバル」です。

良かったことは、出演者が多かったことです。出演者募集のために、十二月頃からポスターやチラシを作製したり、呼びかけをしたりすることで、それをきっかけに出演してくれた方がいたことです。それに加えて、毎年出演してくれている方も多いため、より多くの方に出演してもらえてのだと思います。当日は、たくさんの観客の皆さんが来てくれ、楽しんでもらえました。さらに、スペシャルゲストとして朝倉さやさんが出演してくれたことで会場がさらに一体となって盛り上がったと思います。フェスティバル本番の進行面も、皆さんの協力でスムーズに行えたと思います。

良かった点が、たくさんあった中で、課題点も見つかりました。それは、リハーサルが思うように進まず、開場を十五分おしてしまったことです。開演時間への影響は出ずに済みましたが、観客の皆さんにご迷惑をおかけしてしまいました。リハーサルを行っている時も、団体ごとにリハーサルの長さに差が出てしまいました。一部のトラブルにも臨機応変に対応できれば良かったと思います。改善策として、今年は本番当日に行ったリハーサルを別の日にする、または時間を早めて余裕を持って行うなどすれば、慌ただしい日程にならずに済むと思います。

私が、来年度の少年議会の活動で行ってほしいことは、町の施設でのボランティア活動です。お年寄りの皆さんと触れ合ったり、議員で雪かきをしたりと、直接役に立てる活動も行ってほしいです。今年の課題点は改善し、良かった点は残し、今年以上の活動をしてもらいたいです。

少年議員 池田泰基

少年議員の池田泰基です。僕が少年議会で記憶に残っていることは三つあります。

一つ目は、米〜ちゃんの着ぐるみに入ったことです。着ぐるみはとても暑くて思っていた以上に重かったです。周りにたくさんの人が集まってきてくれて、一緒に写真を撮ったり、握手したりなど、とても楽しかったです。やろうと思っても、なかなかできない体験だと思うので、とても貴重な体験ができたと思います。

二つ目は、鹿の角を切ったことです。僕は、実は動物が苦手な人で鹿が怖かったですし、大勢の人に見られて緊張したので、本当に大変でした。これも大変珍しい体験ができたと思います。その上、面白かったです。

三つ目は先日あった遊佐ミュージックフェスティバルです。ミュージックフェスティバルは、今までやってきた中で一番大きなイベントになったと思います。その前の日までにがんばって準備を進めて来てよかったと、僕は当日の入場時間前にホールの外に並んでいる人の数を見て思いました。本番では、主に裏方の仕事で、ステージの横にいたのですが、出演者も観客も皆が盛り上がっていました。

今回挙げた、3つ以外にも数多くのことが記憶に残っています。その中には、少し失敗したかなと思うものも含まれています。挙げた3つも完璧だったわけではありません。反省すべき所もいくつもあります。ですから、来年は今年の分の反省をふまえて、より良いことができるようにしたいです。

少年副議長 菅原一真

少年議会副議長の菅原一真です。

先日程われた遊佐ミュージックフェスティバルは、大成功で終わり大変うれしく思います。昨年度のミュージックフェスティバルでは、英語検定のため、途中参加となりましたが、今期は最初から最後まで参加し、ソーランを披露することができました。

10月半ばに行った鹿の角切りも、昨年度は切る役はできませんでしたが、今年度はすることができました。角を切るのはとても難しく、力が必要であることを痛感しました。少年議会でしかできないことを経験することができました。

そして、今期で最も大きな課題を残した企画がありました。それは、心の交流イベントです。米〜ちゃん体操や、人間すごろくなど多数の新しい企画をしたにも関わらず、来場客が誰も来なかった失態をしてしまいました。原因としては、時期が冬であったためや、積雪が多く、来場が困難であったことです。時期が冬でなく夏の終わり頃から秋にかけてが良かったのではないかと思います。理由としては、涼しく、各家庭の盆礼が終わり一段落ついた時期なので、来期はその時期がいいなと思います。

来期も行ってほしい企画は、遊佐ミュージックフェスティバルですと心の交流イベントです。ミュージックフェスティバルは、今期以上の盛り上がりや、心の交流では課題を改善し、失敗に終わらないようにしてほしいなと思っています。

少年議会の皆さんと協力し、多くの企画ができました。印象に残る思い出もたくさん作ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年議員 佐藤 翼

少年議員の佐藤翼です。今年度の少年議会は七人と例年よりは少ない人数での活動になりました。しかし、この七人でも一人一人がいい町づくりのために意見を出し合い、多くのイベントを通してしっかりと活動することができました。

最初は、恥ずかしくてメンバーの人と上手く話すことができませんでしたが、盆踊り大会に参加し、徐々に仲良くなることができました。ツーデーマーチのエールにも参加し、町内と県外からの参加者の皆さんを応援することができました。その際、周囲の笑顔に私は幸福を感じることができました。十月には鳥海山神鹿角切祭で、しっかり鹿の角を奉納することができました。貴重な体験ができ、うれしかったです。十二月には、心の交流のイベントを開催しました。私自身は、大学受験とセンター試験前で忙しい時期でしたが、準備と米〜ちゃん体操を覚えることを頑張りました。結果的に参加者は少なかったのですが、ボランティアとして手伝ってくれた遊佐高校と遊佐中学校の皆さんと楽しく交流することができました。最後に今月の十五日に大イベントの遊佐ミュージックフェスティバルを開催しました。一般のバンドや歌手の方からの参加やスペシャルゲストとして朝倉さやさんをお招きし、会場は大盛況でした。かなり多くの方に来ていただきました。

来年度の少年議員の活動は、今年度の活動にプラスアルファしてさらに活気のある町作りを目指してもらいたいです。特に、今年度あまり上手いかなかったところの交流に力を入れてもらい、外国人の方とも交流できる場を作ってもらいたいです。そのために早めの準備と、多くの呼びかけが大事になってくるのではないのでしょうか。

高校三年生で本当に忙しい時期でしたが、受験のときには自分の強みにもなり、とても充実した思い出にもなりました。メンバーや少年議員関係者の方に迷惑をかけたこともありましたが、人として良い方向に成長出来ました。第十二期少年議員として一年間、本当にありがとうございました。

議 会 報 告

少年議長 相蘇彩花

私は、少年議長の相蘇彩花です。私が少年議会でがんばったことは、私が提案した「米〜ちゃん体操」です。自分で提案した提案・計画したイベントなので、すごくがんばりました。

妖怪ウォッチの曲に合わせて、歌詞を最初から考えました。とても難しかったです。そこで、みんなで意見を出し合って歌詞を考えました。また、踊りも考えました。歌詞よりも踊りを考えるのが難しくて大変でしたが、少年議会みんなで協力して「米〜ちゃん体操」の踊りを作ることができました。

イベント当日では、参加者は少なかったです。しかし、とても楽しくイベントを終えることができました。参加してくださった方はとても楽しそうにしてくれていました。その楽しそうにしている姿を見たら、すごくうれしかったです。人数が少なかったのが、少し悔しかったのですが、とても楽しく笑顔でイベントを終えることができたので良かったです。

私が提案したイベントの他に、ミュージックフェスティバルなどのイベントもありました。ゲストでは、朝倉さやさんをお迎えしました。当日、私は司会をしました。私は大勢の前で発表することが苦手です。ですが、司会をすることで苦手を克服するチャンスだと思い、司会をすることにしました。イベントの前の日から、本当に緊張ばかりですごくドキドキしました。本番当日では、さらに緊張しました。ギリギリまで読む練習をしました。だんだんと時間がせまり、開演となりました。前半は、緊張いっぱいドキドキしながら司会をしましたが、だんだんと慣れていきました。後半では、楽しみながら司会をすることができました。大成功して良かったです。みんなで準備などもがんばりました。私たちもすごく楽しめたイベントでした。

一年を通して、私は議長として人の前で話したり、議会の中での司会があったりして、とても大変でした。また、部活と少年議会の両立も忙しかったです。しかし、貴重な経験もすることができ、とても楽しい少年議会活動になりました。

集まれ！ゆざっ子！こころの交流

12月13日（土）に、町民体育館で開催。中高生ボランティアを募集し、スタッフ約20名で行いました。

遊佐をモチーフにした「巨大すごろく」では、鳥海山コースと日本海コースに分けたり、昔遊びを取り入れたマスを作成し、世代を超えて交流できるような工夫をしました。「米〜ちゃん体操」では、子ども達に大人気の妖怪ウォッチの「ようかい体操」をベースに、自分たちで歌詞や振り付けを考え、動画撮影を行いました。

荒天や他イベントと重なり参加者をたくさん集めることはできませんでした。しかし、ボランティアの中高生と一緒に取り組むことができ、終了後には「もっと天気の良い時期に行いたい」、「保育園や幼稚園のイベントを把握して日程を決める」などの反省が出ました。次回に繋げていきたいです。



イベント中の様子



みんなで米〜ちゃん体操

遊佐ミュージックフェスティバル

2月15日（日）に生涯学習センターホールで開催しました。今年は、9組の遊佐町や酒田市などで活躍する団体が出場し、出演者・来場者合わせて約350名の大イベントとなりました。

遊佐高校ソーラン部や、歌とピアノで出場の「ピアノフォルテ」、酒田南高校の軽音楽同好会のバンドなど、高校生も多数出場しました。

またスペシャルゲストとして、大人気の「朝倉さや」さんをお呼びし、「タッチ」の山形弁バージョンや、聴衆をまきこんだ「花笠音頭」、デビュー曲「東京」など全6曲を披露していただきました。民謡日本一の迫力ある歌声はもちろん、上京時のエピソードなどもきくことができ、会場は一体感で包まれていました。

少年議会では、協力して出場者募集ポスターから、看板、プログラム、タイムスケジュール、台本などを作成しました。また、宣伝活動としてチラシ配りやラジオでの告知なども行いました。今年も多くの人に楽しんでもらえるイベントとなり、今期少年議会の政策の集大成とすることができました。

(右)
ゲストの朝倉さやさん

(下) 送迎も少年議会
メンバーで行いました



他にも、様々な町内イベントに参加しました！

町民盆踊り大会

奥の細道鳥海
ツーデーマーチ

鳥海山神鹿角切祭



2014.6.20 選挙事務改革フォーラム

遊佐町少年町長・少年議会
取り組みと成果

山形県遊佐町教育委員会 社会教育係

湧水の里・遊佐町

山形県と秋田県の県境、庄内砂丘の北端に位置

- 人口：15,059人（2014年5月現在）
- 自然：五大自然（山 川 海 平野 砂丘）
鳥海山（2,236m）・月光川（牛渡川・丸池様）
- 産業：米、砂丘メロン、パプリカ、岩ガキ、日本酒



きっかけ - 事業以前の遊佐町

少年議会の始まる前の遊佐町は…

- 人口減少、少子高齢化、職住分離、生活形態の多様化
- 「地域づくり」「まちづくり」の重要性が高まる
- 時代を牽引する**若者の減少**

『地域の大人』は
何をすれば良いのか…？一方、『若者』は
どうしたら良いのか…？

- **若者自身が地域社会の一員**であることを自覚
- 地域社会での**居場所（活躍の場）**を明らかにする

きっかけ - 少年議会の誕生

「町」に求められていること

- 厳しい状況を乗り越えて地域の中心となる**若者の育成**
- 若者の**活躍の場**を創るための**環境づくり**
- 若者の**力・意見**を取り入れたまちづくりを推進

『自分たち』の力で、『自分たち』が本当に求める
遊佐のまちをつくらう!!2003年 - 少年町長・少年議員公選事業誕生

事業のねらい

- ① 若者たちが、**自らの代表**を『直接』選び、政策を実現していくことで、**学校外で民主主義を実際に体験・学習**する。
また、これを通して社会の構成システムを学ぶ。
- ② 中高校生等の未来を担う若者の視点からの提言や意見を、町が積極的に採り上げることを通じて、**若者の町政参加を促す**。
- ③ この事業に関わるすべての関係者が、**若者の意見に学び**、併せて若者たちが、町のシステムや民主主義を**相互に学ぶ場**としたい（相互教育）。

少年議会の特徴

- ① **自ら立候補する**
 - 定員：少年町長（1名） 少年議員（10名）
 - 選挙権・被選挙権：町内在住・在学の中学生、高校生
 - 平成26年度 有権者 823名
- ② **中高生（有権者）が全員で投票する**
- ③ **自らの政策を掲げる**
- ④ **独自の政策予算をもつ**
平成26年度：45万円
- ⑤ **政策提言を町の政策に反映させる**
所轄課で予算化



1年の流れ



全体スケジュール

5月下旬	各高校 & 中学校生徒への説明会
6月上旬	立候補受付期間 (1週間)
6月下旬	投票日 (各学校にて)
6月下旬 ~7月上旬	開票・当選証書交付式 第1回 少年議会 (所信表明)
7月~8月	政策立案期間
8月下旬	第2回 少年議会 (一般質問・政策提言)
8月~12月	政策実施期間
12月下旬	第3回 少年議会 (議会報告)

町長以下、全課長が出席し、答弁・激励を行う

立候補 ~ アンケート調査

少年議会

少年議会プロジェクト会議

- 選挙管理委員会、議会事務局、企画課企画係、教育委員会から組織
- 学校を訪問して立候補者募集



定数を超えた時は、投票に

- 学校に出向いて、その場で投票
- 投票率：**83%** (第9期少年議会)

アンケート調査

- 有権者の意見を政策に反映



開票 ~ 政策立案

少年議会

開票・当選証書付与式・第1回少年議会

- 前年度議員・プロジェクト委員で開票
- 第1回少年議会でも**所信表明**



アンケート集計・政策立案

- 有権者が少年議会・町に何を求めているか
- 回収率：**81%** (第11期少年議会)



第11期少年議会 施政方針

少年議会

平成25年度第11期少年議会 施政方針

文化・人・交流 出合いを大切にする『まちづくり』

政策提言

- **ゆざミュージックフェスティバル**の開催
- **被災地ボランティア**、遊佐高校との連携チャリティイベント
- 世代間の交流 (老人ホームへの訪問)
- **特産品**の開発、販売 & レシピ化、発信

一般質問 (町への要望)

- 通学路への街灯 (防犯灯) 設置
- 災害に対する備え (避難路、看板、避難所)

遊佐町イメージ
キャラクター

べえ
「米~ちゃん」

少年議会

町民が一つにまとまるよう遊佐町のシンボルが欲しい
(有権者の声)

- 第2期少年議会が全町民対象に募集し、選考・決定
- 2004年に誕生！**今年で10周年のキャラクター！！**



米~ちゃん&ライちゃんの着ぐるみ ↑

← 2009年には、ファミリーが登場

要望書・陳情書の提出

少年議会

帰宅時間帯の電車増便の要望 (第5期) → JR東日本へ
町内の街灯の設置の要望 (第11期) → 町へ

- 若者の要望を町に届けるため、現地調査や署名活動
- 要望書・陳情書を作成して町・関係機関に提出
- 電車の時間変更や街灯・防雪柵の設置など一部実現



← JR東日本へ陳情書を提出



アンケートを集計 →

特産品開発

少年
議会

芋煮コロッケ（第9期～）

- 山形県の郷土料理「芋煮」を手軽に食べられるように
- 味噌味豚肉の庄内風芋煮を再現
- 第11期でレシピを改良し、リーフレット作成



もちっと！米～カレー（第11期～）

- 遊佐ブランド推進協議会と連携して開発
- 新特産品「**鳥海山の恵みをいただくカレー**」を食べやすく
- 形や素材・トッピングで遊佐町の**五大自然**を表現



被災地支援・ボランティア

少年
議会

東日本大震災被災地支援活動・募金（第9期）

- 高校と連携して、現地でボランティアを実施
- 町内イベントで募金活動（第9期～）



クリスマス交流会in陸前高田（第11期）

- 被災地でのソーランチャリティがしたい & 心の交流を行いたい
- 少年議会 & 遊佐高校の約30名が参加
- 芋煮とソーラン・ハンドベル教室で交流
- 1週間前から練習を重ねて臨んだ
- 準備～当日司会まで少年議会で企画



ミュージックフェスティバル

少年
議会

- 若者の集まるイベントを行いたい！
- 町に元気を呼び込みたい！



毎年音楽イベントを開催

第3回ユザミュージックフェスティバル（第11期）

- 出場団体・個人：9組（歌・ソーラン・合唱・バンド・三味線など）
- **スペシャルゲスト「ワカバ」**
- ポスター・看板・プログラムなど全て制作
- イベント終了後には、特産品を販売
- 総勢**350人以上の若者**が集まり、大成功！



事業の効果

少年
議会

【少年町長・少年議員】

- 遊佐町に**関心**を持つようになった
- **自信と責任**が生まれた
- 地域における**リーダー**が育ち始めている

【地域住民】

- 挨拶の仕方・人前での発言が「頼もしくなった」「上手になった」との声
- **団体から少年議会に**、意見・アイデアを求めるケースも

【行政】

- 若者の提言を、町議会と同等の**重み**を持って受け止め、反映

今後の課題

少年
議会

本事業についての更なる周知

- 有権者や地域の大人からもっと知ってもらい、**活動に参加・協働**してもらいながら事業を進める必要あり

立候補者の確保

- 近年、立候補者が少なく選挙にならない年が続いている。有権者の**中学生・高校生に興味を持ってもらえる**よう活動内容のPRと、関係機関への協力の呼びかけ

政策立案の手法

- 有権者の意見をもとに政策を立案するにあたり、議員の考えを出してもらい、**集約し形にするまでの手法の検討**が必要（押し付けにならない、内容の吟味も必要）

少年
議会

ご清聴ありがとうございました

2015年3月発行 放送大学大学院 教材之事例紹介されました

① 世田谷区烏山中高生世代応援スペース「オルバ」(事例提供: 櫻井龍太郎氏・NPO法人「せたがや」) 参考: 推進パートナーズ) これは余暇活動の延長というチャンネルを通じた生活ガバナンスである。

東京都世田谷区は、「中高生世代活動支援モデル事業」として、烏山中高生世代応援スペース「オルバ」(以下、「オルバ」という)を2013年度に9ヶ月間の期間限定で開設した。運営事業者は大学生中心のNPO法人「せたがや」こ参加推進パートナーズ」(以下、「せたさん」という)である。同法人の活動目的は「中高生を中心とした子ども・若者が大人のパートナーとしてともに社会をつくっていく世田谷にすること」で、スタッフにはそれぞれ世田谷区内で中高生時代から地域でのボランティア活動や提言活動に参加していた面々が揃っている。

せたさんはオルバの設置に向けてスウェーデンのユースセンターを参考とし、運営方法(開館時間、休館日など)、各部屋の使い方、イベント、ルールなど中高生自身によってつくりあげた。オルバの建物は、もとは金融機関であったが、その結果、元金庫室が音楽スタジオ、元応接室が自習室となった。お化け屋敷、ゲーム大会、もちつきなど多様な企画が行われた。

オルバの一番の特徴はスタッフの若さである。17歳から26歳のスタッフを常時配置し、中高生世代の「やりたいこと」を引き出し、オルバを「ともに」つくっていく。「年齢が近くて親しみやすい」と語る利用者は少なくない。「自分たちの居場所自分たちでつくる」は基本だが、スタッフはただの引出し役ではない。若者が若者が必要とし、パートナーとしてともに居場所をつくっていく。ここにオルバの重要性がある。

② 山形県遊佐町の少年議会

これは身近な場(地域や学校)における意思決定を通じた生活ガバナンスの事例である。

山形県遊佐町では、2003年から、イギリスの若者議会の影響を受けて、

少年議会が設置されている。市町村合併において独立の道を選んだ遊佐町が、地元に着用を持ち地元のために活動できる若者を育てるために始めたプロジェクトである。中高生が立候補し、少年町長(1名)、少年議員(10名)の席を争って選挙を行い、選ばれた中高生が少年議会を構成する。

少年議会は、①活動予算(45万円)を持ち、企画したプロジェクトを自ら実施する、あるいは、②政策提言を行って町の政策に反映させるという、2つの方法で自分たちの思いを実現している。月に一度は、町長や町議員との意見交換の場も設けられている。これまで、少年議会が自ら手で実現したのは、遊佐町のイメージキャラクター「米〜ちゃん」の制作、「商店街の活性化」と「町民が憩える場の創出」を目指したカフェの運営、地元の特産品の開発などであり、一方、政策提言として実現したのは、帰宅時間帯の電車の増便などである。

日本で、若者による意思決定機関が独自予算を持っている例は筆者の知る限りほかになく、最も欧州に近い取組みである。遊佐町の少年議会は大人の発案で発足したものだが、現在は、中高生主導の運営に移っている。

(5) 新たなチャンネル：e-participation (電子参加) ならびに e-democracy (電子民主主義)

ネット環境の整備とともに、ITを活用した参加、いわゆる e-participation や e-democracy が進展し(津田 2012)、若者自身によるガバナンスへの参加の動きが始まっている。たとえば、10代の女子学生が2002年に創設した、スウェーデンのローカル政党 Demoex は、市議会の議案ごとに党員から投票を募って、その意見の割合に応じて、本議会における投票行動を決定するという仕組みを構築した。2003年には町議会に議席を得て、本議会における投票を行っている。このような直接民主制を目指す政党は欧州各地で誕生している。

日本でも、ネット環境を活用し、たとえば、2014年の東京都知事選挙において、IT企業の創業者が立候補して、主として20代、30代の支持

第12期 少年議会活動報告

第12期少年町長・少年議員の主な活動を報告します。
当選した昨年7月から2月まで、学業・受験・部活動との両立を図りながら、懸命に遊佐町のことを考え活動してくれました。

12/13
(土)

集まれ!ゆざっ子!こころの交流 巨大すごろくin遊佐・米~ちゃん体操

町民体育館を会場に、高校生と中学生のボランティアを募集し、20名が集まりました。

遊佐をモチーフにした巨大すごろくでは体育館全体を利用し、途中、「鳥海山コース」と「日本海コース」に分けたり、昔遊びを取り入れたマスを作成し、世代を超えて交流できるような工夫をしました。「米~ちゃん体操」では、今子ども達に大人気の妖怪ウォッチの「ようかい体操」をベースに、自分たちで歌詞や振り付けを考えました。当日は、ボランティアの中高中生に「米~ちゃん体操」を教えて覚えてもらい、みんなで動画の撮影を行いました。

大寒波が訪れた当日。他の行事などと重なってしまったこともあり、終了後少年議員からは、「もっと天気の良い時期に行きたい」、「保育園や幼稚園のイベ



体育館いっぱいにごろくのマスをつくりました

ントを把握して日程を決める」などの反省が出ました。より多くの人に楽しんでいただけるイベントの開催のため、今後につなげていきます。

2/15
(日)

第4回 遊佐ミュージックフェスティバル

生涯学習センターホールを会場に開催され、今年は、遊佐町や酒田市などで活躍する9組の団体が出場し、出場者・来場者あわせて約350名の大会となりしました。

遊佐高校ソーラン部「龍信湊乱」を皮切りに、歌とピアノで出場の「Piano f (ピアノフォルテ)」、酒田南高校の軽音楽同好会のバンド「ザントーズ」など、高校生も多数出場しました。またスペシャルゲストとして、CMなどでおなじみの人気歌手、朝倉さやさんをお呼びし、「タッチ」の山形弁バージョンや、聴衆をまきこんだ「花笠音頭」、デビュー曲「東京」など全6曲を披露していただきました。民謡日本一の迫力ある歌声はもちろん、上京時のエピソードなども聞くことができ、会場は一体感で包まれていました。

ミュージックフェスティバルのために、少年議会メンバーで協力して出場者募集ポスターから、看板、プログラム、タイムスケジュール、台本などを作成しました。また、宣伝活動としてチラシ配りやラジオでの告知なども行いました。今年も多くの人に楽しんでもらえるイベントとなり、今期少年議会の政策の集大成とすることができました。



【他にも様々なイベントに参加】

- ・遊佐町合併60周年記念式典
- ・町民盆踊り大会
- ・奥の細道鳥海ツーデーマーチ
- ・遊佐町子育てフォーラムでの事例発表



少年議長
相蘇 彩花 (遊佐高校1年)

「米〜ちゃん体操」です。自分で考えた企画なので
すごく心に残っています。少年議員みんなで踊りや歌
詞を考えて、難しい所もありましたが、とても良いも
のを作ることができました。イベント当日は、あまり
人が集まりませんでした。来てくれた方々は楽しんで
くれて良かったです。とてもいい経験になりました。



少年議員
白崎 絵理 (遊佐中学校3年)

「遊佐ミュージックフェスティバル」です。みんな
で話し合ったり、日程を決めてタイムスケジュールを
作ったりと、準備をがんばりました。今年は、朝倉さ
やさんをゲストに計9組に出演していただきました。
ダンス、バンド、歌で大変盛り上がりました。



少年議員
今野 麻未 (遊佐中学校3年)

ツーデーマーチのスタッフとして参加したことです。
スタッフとして、出発式でツーデーマーチの参加者へ
のエールを送ったり、米〜ちゃんを案内したりしまし
た。2日間のスタッフを通して、少年議会の人々と触
れ合ったり色々な話ができ、とても楽しかったです。



少年議員
菅原 一真
(遊佐高校2年)

神鹿角切祭です。昨年できなかった角を切る
役を、今年度は実現できました。ノコギリを使っ
て角を切るのは初めてだったこと、大勢のお客
さんが見ている中でだったので緊張しました。重
圧に押されながらも、二つの角を無事に切り終
えることができ、とてもうれしかったです。

活動を終えて

今期、一番心に
残っていることは？



少年町長
三浦 紗希
(遊佐高校1年)

12月に行った、心の交流イベントです。
準備の時からイベント内容など、当日のこ
とを考えながら活動しました。当日は多く
のボランティアの方が集まり、会場準備を
協力して楽しく進めることができました。
参加者は多くはありませんでしたが、みん
な楽しんでくれて良かったです。



少年議員
佐藤 翼
(酒田光陵高校3年)

町内盆踊り大会に参加したことです。
12期少年議会の仲間と初めての活動で緊
張しましたが、協力しながら楽しく踊るこ
とことができました。団結力が深まり、達成感
も大きなものになりました。今期は7名と
少ないなか、たくさんの活動に参加する
ことができ、とても充実した時間を過
すごすことができました。



少年議員
池田 泰基
(遊佐高校1年)

鳥海山神鹿角切祭で鹿の角を切ったことです。
鹿の角を切るのは思っていたよりもずっと大変で
した。経験もなく、どうすればいいのかわかりま
せんでした。まわりの皆さんの協力で、何とか切
ることができました。うまく行って良かったです。

1年間の少年議員活動へのご支援、ありがとうございました!

**平成26年度遊佐町少年町長・少年議員公選事業
プロジェクト委員名簿**

番号	所 属	職 名	氏 名
1	議会事務局	次長兼議事係長	佐藤 光弥
2	総務課（選管）	総務係主事	佐藤 利信
3	企画課	課長補佐兼企画係長	高橋 善之
4	〃	企画係主任	佐藤 裕也
5	教育課	課長	高橋 務
6	〃	学校指導係長兼指導主事	後藤 司
7	〃	総務学事係主事	佐藤 明子
8	〃	文化係主事	伊藤 塁
9	〃	社会教育指導員	佐藤 正子
10	〃	課長補佐兼社会教育係長	高橋 晃弘（事務局）
11	〃	社会教育係主任	本間 裕行（事務局）
12	〃	社会教育係主事	石垣 貴大（事務局）
13	〃	社会教育係主事	高橋 愛（事務局）

◆ 遊佐町少年町長・少年議員公選事業の実施のため、遊佐町役場内にそのサポートのためのプロジェクトチームを立ち上げる。

◆ プロジェクトチームは、実際の事業を執行する際、直接若者達の支援を行う。

※ 担当課 … 議会事務局・選挙管理委員会・総務課・企画課・教育課



明日の遊佐町に
ぼくたち、わたしたちは
提案します。



遊佐町のイメージキャラクター
「米～ちゃん (ベえ～ちゃん)」

第2期少年議会で募集されて生まれました。
誕生して10年、遊佐町を代表するキャラクターとなっています。